

歩きながら
地域特有の建築も
楽しんで見てほしい

さかもと ふみお
坂本文夫 さん
坂本工房

昭和29年、岩手県大船渡市三陸町生まれ。
綾里(りょうり)不動滝のほど近くにある木工場『坂本工房』で作品作りをしている。
彫刻や仏像など手がける宮大工である。
一緒に写真に写っているのは看板猫の「コロ」

みちのく潮風トレイルのルート上には私が手がけた作品がいくつか点在しているんですよ。
碁石岬のあずまやの屋根の下に鎮座している海神様がわかりやすいですかね。
綾里峠を私たちは『九十九曲(くじゅうくまがり)』と呼んでいます。昔の人たちが峠の向こうで買った荷物や郵便などを牛で運んだ道だと聞いていますが、実際私たちの年代が歩くことはほとんどありませんでした。
九十九曲を越えるハイカーは全国各地から、そして最近では海外の人たちも来るようになってビックリしています。工房の目の前をハイカーが通るので、時間が合えば作業や作品を見てもらって、日本のこの地域の木工技術に触れてもらっています。
これまでたくさんのハイカーと話してきましたが、「弟子にしてください！」と言う若者もいました。クマが怖くて越えられないと毎年チャレンジしに来た女性もいましたね。その女性は3回目にしてやっと峠を越えられたようですが、来る度に顔を出してくれて嬉しいものですね。
みんながそれほど歩きたい九十九曲はどんな道か、私も歩いてみたくなって、令和2年から野形(のがた)部落の仲間と年1回歩くようになりましたし、不動滝に憩いの場になればとあずまやを建造したりもしました。
私たちのあたりまえの日常に、みちのく潮風トレイルが風を吹き込んでくれているように感じます。



坂本さんは訪れるハイカーたちの憩いの場になればと不動滝に休憩できるあずまやを建造しました。その他不動滝の賽銭箱や鳥居なども坂本さんによるご奉仕で設置されています。

